

白雲院真月貞性禅尼小祥一周忌 並びに石塔開眼法要厳修

令和七年十一月十五日、
命日当日に龍源寺二十二
世寺族・俗名桑原富こと白
雲院真月貞性禅尼の小祥
一周忌、並びに龍源寺寺族
廟所にて石塔開眼法要が
修行されました。
導師はいずれも龍源寺
末寺龍昌寺御住職・山田隆
一老師にお勤めいただき
ました。当日は親族や総
代に参集いただき、厳かな
なかしめやかに勤めるこ
とができました。ここにこ
ろ報告申し上げます。



龍源寺報

92号

雪害報告



二宮金次郎像倒壊



無量寿塔灯籠倒壊



集霊墓灯籠倒壊

托鉢・だんごまき



托鉢



だんごまき

編集発行
曹洞宗 龍源寺
深見山
〒949-8311
新潟県中魚沼郡津南町
中深見乙1118番地
☎ (025) 765-3055



【公式HP】 <http://www.shinkenzan.com>



【公式Instagram】 @shinkenzan1582

お宮参り



藤ノ木家の皆様

本堂裏普請完了

工事費二部御寄付 秋成 桑原藤枝殿
令和七年お盆明けより始まっていた龍源寺本堂裏の普請が令和七年年末をもって無事完了いたしました。
本堂裏外壁、本尊様裏窓工事、本堂裏廊下工事、本堂裏東司(トイレ)工事と総額二千二〇万円を超える工事となりましたが、より良い外観と使いやすい本堂に繋がる工事となりました。葬儀等、檀信徒が龍源寺本堂を利用する機会是非常に多いですので、檀信徒にとっても喜ばしい工事になったことと思います。ここに報告いたします。
またこの度、秋成集落の桑原藤枝さんより多額の御寄付を頂戴し、この工事と重なりましたので工事費に当てさせていただきました。寄付金を伽藍の一部とさせていただきます。誠にありがとうございました。



本堂土台補修工事

落雪による土台倒壊が今回二度目となりました。よって、固定するための補修工事を檀信徒である樋口石材さんをお願い致しました。伽藍の倒壊につながる重要な事柄です。今後も雪による被害を注視していきます。



葉の叢 第32回

さんしん 三心

大本山永平寺御開山・道元禪師の著した『典座教訓』という書物がございます。典座とは曹洞宗の修行道場における食事を司る立場で、修行を支える食事の責任者ということですが、非常に重要視されてきた役割です。その典座の心得を著したのがこの『典座教訓』でございますが、その中で示される教えの一つがこの「三心」です。
事に臨むにあたって大事だと道元禪師が示す三つの心、一つ目は喜心・喜び感謝する心。二つ目は老心・父母の子に対するような限らない慈悲愛の親切な心。三つ目は大心・不動な心と海のごとく、偏しない心。わかりやすくいうならば、「感謝の

心」「親切な心」「かたよらない心」といったところでしょうか。私自身の修行生活での経験と照らし合わせてみるならば、この「私」を殊更に強くもった心だとこの三心は湧き上がってきづらいたのではないかと感じます。人は独りでは生きていきません。他者があってこそ存在しているこの「私」、仏教でいうところの「縁」があつて成り立っている「私」という自覚があればこの三心は自ずと湧き上がってくるのではないかと考えます。
また、この三つの心は良い人間関係を築くに必須です。全ては関係性によって成り立つというのが仏教の考え方ですが、人間関係がうまくいかないと感じる方はこの三心が自分にあるか、自問自答する必要があるかもしれません。